



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流

コード番号 9055 URL <http://www.alps-logistics.jp/jpn/ir/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 孝一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 荒川 信一

TEL 045-532-1982

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,504	3.5	2,873	△7.3	2,894	△4.3	1,351	△9.2
23年3月期第3四半期	50,705	12.7	3,100	15.5	3,026	9.3	1,488	6.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,311百万円 (4.4%) 23年3月期第3四半期 1,256百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	76.37	—
23年3月期第3四半期	84.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	55,123	32,964	54.1	1,684.35
23年3月期	52,145	32,467	56.2	1,656.74

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 29,805百万円 23年3月期 29,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
24年3月期	—	17.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	3.1	3,700	△3.7	3,800	△0.5	1,800	10.4	101.72

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	17,737,200 株	23年3月期	17,737,200 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	41,712 株	23年3月期	41,712 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	17,695,488 株	23年3月期3Q	17,695,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3 四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月～12月)の日本経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響によって、生産や輸出が大幅に落ち込む中でスタートしました。夏場に掛けて徐々に生産の正常化が進みましたが、電力供給制限や歴史的な円高の進行によって、厳しい経済状況が継続しました。

当社グループにおきましては、このような経済環境のもと、取扱貨物量の変動に合せた効率的な事業運営に取り組んでまいりました。そして、今年度の事業方針として、引き続き、「3・E-Logistics」の推進～「物流力NO.1」への挑戦～を掲げ、重点戦略として、グローバル・ネットワークの拡充や独自サービスの拡大による「新規・深耕拡販の推進(Energy)」、システムを活用した生産性の向上や、絶対品質の提供による「事業体質の強化(Economy)」、環境保全サービスの提供や節電対策の推進などによる「グリーン・ロジスティクスの追求(Ecology)」を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高52,504百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益2,873百万円(同7.3%減)、経常利益は2,894百万円(同4.3%減)、四半期純利益は1,351百万円(同9.2%減)となりました。

<セグメントの概況>

電子部品物流事業

電子部品物流事業は、東日本大震災に伴うサプライチェーンの混乱や電力供給制限、また、秋口に発生したタイの洪水の影響によって、不安定な事業環境が続きました。当社グループでは、新規・深耕拡販を推進するとともに、貨物量に合せた運営体制の効率化に取り組んでまいりました。

一方で、中期的な「新たな成長」に向けた諸施策につきましても継続して進めてまいりました。貨物量拡大に向けたグローバル・ネットワークの強化として、国内では4月に小名浜営業所の増築倉庫、5月には北上営業所の新倉庫がそれぞれ稼働を開始いたしました。海外では3月に設立した韓国アルプス物流が光州、ソウル近郊の水原の2拠点で事業を開始いたしました。また、中国では内陸部の重慶に現地法人・支店の設立、上海・松江の新倉庫開設を行うなど、着実に拠点・ネットワークの整備・拡充を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、海外では規模を拡大しましたが、夏場までの国内の貨物量減少や顧客の輪番操業への対応等による事業効率の低下が影響し、落ち込みをカバーするには至りませんでした。

当セグメントの売上高は24,681百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は2,179百万円(同6.8%減)の結果となりました。

商品販売事業

商品販売事業では、電子部品関連の包装資材、成形材料、電子デバイスの販売を行っております。期初においては、震災の影響で需要が減少いたしました。調達と物流を一元化した電子デバイスの販売ビジネスが、顧客や取扱品目を拡大したことにより、増収増益となりました。

当セグメントの売上高は11,071百万円(前年同期比22.3%増)、営業利益は295百万円(同17.3%増)の結果となりました。

消費物流事業

消費物流事業につきましては、グループ会社である(株)流通サービスが、生協の個配関連を中心に事業拡大を進めてまいりました。8月には今後の新規・深耕拡販に向けて、流通加工の大型拠点として八潮物流センターをオープンしました。

当第3四半期連結累計期間は、個人消費の低迷や、顧客の物流再編や合理化が進む厳しい事業環境でありましたが、新規の顧客開拓を進め、物量の減少をカバーしてまいりました。利益面では、八潮物流センターの立ち上げ費用などが発生し、減益となりました。

当セグメントの売上高は16,751百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は398百万円(同21.8%減)の結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

前連結会計年度末と比較した当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

総資産につきましては、夏場以降の売上回復に伴う「受取手形及び営業未収金」の増加や、(株)流通サービスの八潮物流センター開設に伴う有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末比2,977百万円増の55,123百万円となりました。

負債合計は、売上回復に連動した「営業未払金」の増加などによって、前連結会計年度末比2,480百万円増の22,158百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末比497百万円増の32,964百万円となりました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末比2.1ポイント低下の54.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成23年10月28日付「平成24年3月期 第2四半期決算短信」で発表しました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,888	9,741
受取手形及び営業未収金	9,997	12,206
商品	1,088	1,389
その他	2,041	1,609
貸倒引当金	5	6
流動資産合計	23,010	24,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,047	10,359
土地	12,891	12,788
その他（純額）	1,789	3,014
有形固定資産合計	24,728	26,162
無形固定資産		
のれん	103	85
その他	1,161	1,075
無形固定資産合計	1,265	1,161
投資その他の資産		
投資有価証券	341	278
その他	2,823	2,604
貸倒引当金	22	24
投資その他の資産合計	3,142	2,858
固定資産合計	29,135	30,182
資産合計	52,145	55,123
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	5,544	6,866
短期借入金	3,783	3,480
未払法人税等	615	503
賞与引当金	1,259	686
役員賞与引当金	—	25
災害損失引当金	305	14
その他	2,702	3,561
流動負債合計	14,212	15,138
固定負債		
長期借入金	2,900	2,878
退職給付引当金	1,511	1,558
役員退職慰労引当金	303	293
その他	750	2,290
固定負債合計	5,466	7,020
負債合計	19,678	22,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	2,029	2,029
利益剰余金	26,055	26,787
自己株式	50	50
株主資本合計	30,384	31,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	62
為替換算調整勘定	1,049	1,248
その他の包括利益累計額合計	1,067	1,310
少数株主持分	3,150	3,159
純資産合計	32,467	32,964
負債純資産合計	52,145	55,123

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	50,705	52,504
売上原価	44,260	46,188
売上総利益	6,445	6,316
販売費及び一般管理費	3,345	3,442
営業利益	3,100	2,873
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	5	6
保険返戻金	21	204
その他	92	98
営業外収益合計	125	316
営業外費用		
支払利息	85	110
為替差損	87	105
その他	26	79
営業外費用合計	199	294
経常利益	3,026	2,894
特別利益		
固定資産売却益	3	3
貸倒引当金戻入額	1	—
補助金収入	8	—
災害保険金収入	—	102
特別利益合計	13	106
特別損失		
固定資産除売却損	37	24
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25	—
災害による損失	—	64
固定資産圧縮損	4	—
退職給付制度終了損	154	—
特別損失合計	222	88
税金等調整前四半期純利益	2,817	2,913
法人税、住民税及び事業税	690	808
法人税等調整額	378	506
法人税等合計	1,069	1,315
少数株主損益調整前四半期純利益	1,748	1,597
少数株主利益	259	246
四半期純利益	1,488	1,351

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主利益	259	246
少数株主損益調整前四半期純利益	1,748	1,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	44
為替換算調整勘定	481	241
その他の包括利益合計	492	286
四半期包括利益	1,256	1,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,098	1,107
少数株主に係る四半期包括利益	157	203

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,112	9,050	16,542	50,705	—	50,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	25,112	9,050	16,542	50,705	—	50,705
セグメント利益	2,338	251	509	3,100	—	3,100

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)
	電子部品 物流事業	商品販売 事業	消費物流 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,681	11,071	16,751	52,504	—	52,504
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	24,681	11,071	16,751	52,504	—	52,504
セグメント利益	2,179	295	398	2,873	—	2,873

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。